

防災総合訓練

令和元年12月1日(日)8:50～12:50 蓮池小学校(グランド・体育館)・野添コミセン

《開会式》

今後発生が予想される南海トラフ巨大地震をはじめとした災害に備え、普段から各自主防災組織の一層の連携を図り、いい気の防災能力の向上を目的として防災総合訓練を行いました。各自治会から数名の参加者を事前に募り、今年は各自治会の判断で一時避難所から蓮池小学校グランドに8時50分までに集合して開会式を行いました。進行の武岡さんの司会で最初連合自治会長の伊田さんから挨拶があり、自主防災担当の藤原さんから実施上の注意点を説明していただきました。

開会式後、体育館で一時救命処置を中心に心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ班、コミュニティセンターの多目的ホールで傷の手当てや三角巾の使い方を学ぶ班に分け、1時間半の講習を受けました。その後10分の休憩後、班を入れ替えてまた1時間半の講習を受けました。

なおこの講習は、全面的に日本赤十字社兵庫支部の指導員の指導の下で行われました。



《一時救命処置》蓮池小学校体育館

最初は、倒れている人を発見してから、呼気の確認や心拍の確認の仕方や、心肺蘇生法の基本を学びます。次にAEDの使い方を学びます。ダミーを使って班の全員が体験しながら学ぶ有意義な研修です。日本赤十字社の方2名に指導していただきました。



《傷の手当て》野添コミュニティセンター多目的ホール

三角巾を使って、体のいろいろな部位の傷をどう手当てしていくのか。三角巾で足や腕や頭などのけがを応急的にどのようにして包むのか実際にやってみました。本当にやってみるとなかなか思うようにできなかったり、できたときにはうれしかったです。とても貴重な体験になりました。



《炊き出し・閉会式》蓮池小学校グラウンド

小学校の備蓄倉庫にある大きな鍋を使って炊き出し訓練をしました。野添コミュニティ委員会の女性部の役員が中心になって各自治会から出てきた炊き出し班の人たちが集まって、開会式後、机や椅子を並べたり、非常食のわかめご飯の作り方の共通理解を図ったり、豚汁の作り方を復習したりしました。非常食のわかめご飯と豚汁は播磨町の危機管理グループからいただきました。11時半ぐらいから、先に試食を終えました。

12時を過ぎると講習を終えた人たちが次々と集まってきました。事前に水を入れかき混ぜていたわかめご飯と割り箸とお茶を配り、豚汁を発泡スチロールの容器に入れて一人一人に配りました。一斉に非常食を食べる人に聞いてみるとどちらの講習も大変良い経験になったとのこと。今年は102名の参加がありましたが、一人でも多くの人がかような体験をすることによって地域の防災力が高まったらいいなと思いました。最後に副委員長の黒澤さんに閉会の挨拶をしてもらい終わりました。

天候にも恵まれ、大変な訓練なのにほっとした時間が流れました。今なお、避難生活を送っている方々の苦労を思うとやはり普段からの訓練の重要性を実感しました。

最後に、非常食を提供してくださった播磨町危機管理Gと講習をしてくださった日本赤十字兵庫県支部の講師のみなさん、本当にご協力ありがとうございました。

